住んで良し、訪れて良しのまちづくり　宮前区観光協会

宮前の風

第10号
2012.4

人が好き
緑が好き
まちが好き

発行：宮前区観光協会　編集・作成：宮前区観光情報取材記者
事務局：宮前区役所地域振興課
ＴＥＬ．０４４－８５６－３１３５　http://www.miyamae-kankou.net

宮前区誕生30周年

昭和５７年生まれ大集合

菅生子供文化センター職員 菊池純平さん

中学校の頃からわんぱく生活学級でキャンプしたり、成人になってからはボランティアとして参加していました。平成19年度からここの職員になりました。遊びにきてね、待ってるよ。

稗原小学校向の空地でおたまじゃくし取りをした思い出があります。

敷地内の斜面を利用して作った「自然の遊具」ハイジのブランコ、ターザンロープ、モンキーブリッジで遊ぶ子供たち。

セイワ鷲ヶ峰そばの坂道を登ると赤い屋根が見えてきます。

宮前区が誕生した昭和57年

JAセレサ川崎は当時、川崎市中央農協でした。写真の奥にスーパーいなげやがあります。

昭和57年（1982年）の出来事

- 500円硬貨発行
- 関西本線の名古屋駅 － 亀山駅間が電化
- 東北新幹線大宮駅 － 盛岡駅間開業
- ソニーが世界初のCDプレーヤー発売
- 上越新幹線大宮駅 － 新潟駅間開業
- 米映画『E.T.』が日本で公開
- 日本電信電話公社テレホンカード発売
- レコード大賞
  「北酒場」（細川たかし）
- 流行語
  「ネクラ・ネアカ」「ほとんどビョーキ」

宮前区の人口と世帯数

	昭和57年（10月）	平成24年（2月）
人口	148,266	220,775
世帯数	48,551	92,930

昭和57年7月14日 宮前保健所第１号乳児検診 渡辺麻里子さん

宮前保健所第１回目の３か月乳児検診、記念すべき日です。大きくなったら話してあげて下さいねと説明がありました。

子育てをしながら看護師として働いています。母は宮前の風取材記者です。

３０年前と同じ場所で撮影

障がい者支援施設「みずさわ」職員 菅原佐知さん（右から3人目）

買い物や散歩の時にお会いしたら声を掛けて下さいね。
毎年夏祭りには菅生ケ丘のお母さん達が一緒に踊って下さいます。
♪みどり宮前住みよいところ人が好き好きまちがすき♪
（宮前音頭）

お祝いといえばお酒！

宮前の風見たよプレゼント！
４月～７月までの期間限定で地酒、本格焼酎、ワインを2,000円以上お買上げのお客様、ワンカップ酒“佐久乃花”“深山桜”どちらかプレゼント、お一人様何回でも良いです。
クレープも販売しています。

■青木萬吉商店 菅生3-45-1　TEL 044-977-1129

（取材：渡辺寛美）

宮前区誕生３０周年 記念キャラ＆ロゴ

miyamae 30th
宮前区誕生30周年
絆を深めてもっと大好きなまちへ

キャラクター
名称：宮前兄妹　兄：メロー・妹：コスミン
宮前区誕生３０周年を祝うため、区名産「宮前メロン」の畑からやってきた「宮前兄妹」。兄の「メロー」は身体を動かすことが得意な元気いっぱいの男の子。どんな坂道もへっちゃらなんだって。妹の「コスミン」は甘いものが大好きな明るく楽しい女の子。区の花・コスモスの花飾りがとってもお似合いだね。
ふたりは、ジモト宮前区をこよなく愛する、メロンボディがとってもキュートな双子の仲良し兄妹だよ！

ロゴマーク
宮前区のイニシャル「M」を区内に多い坂をイメージしてデザインし、青色は発展を続ける若々しさを、緑色は区内に残る豊かな自然や伝承文化を象徴しています。
各種事業を通じて記念すべき３０周年が、すべての区民のさらなる飛躍と連帯感を深める契機となることを願い、「絆を深めてもっと大好きなまちへ」というメッセージを入れました。

ＪＡセレサ川崎 元気・笑顔・絆リポート

馬絹の花 日本農業賞神奈川県代表に…

宮前区の馬絹地区は古くから知られた花の生産地。特にウメ、モモ、サクラと言った枝花物で知られ、枝折り（しおり）と呼ばれる枝の束ね技術や、むろで暖めて開花を早める促成栽培の技法などは全国的にも高い評価を受けています。こうしたことから「馬絹の花」の生産者団体であるＪＡセレサ川崎花卉部馬絹支部が、今年度の日本農業賞神奈川県代表に選出されました。日本農業賞は優れた農業技術によって、日本の農業の発展に寄与している農業者や団体に与えられるもので、農業関係の褒賞としては最も名誉ある賞の一つ。これにより馬絹の花にまた一つ輝かしい歴史の1ページが書き加えられました。

②枝折りされたハナモモ

①花卉部馬絹支部ではＪＡセレサ川崎の15周年を記念し、宝船を形取った正月飾りを制作。今年の正月期間中、本店エントランスに展示されました。

4月は花の季節。宮前区のあちらこちらに花生産者の花畑や植木場が点在しています。春の風を浴びながら花の観賞に歩くのもよいのではないでしょうか。

馬絹の花についてのお問い合わせはＪＡセレサ川崎宮前支店へ
ＪＡセレサ川崎宮前支店 宮前区有馬2-13-1 TEL044-866-4231

JA CERESA KAWASAKI
JAセレサ川崎
http://www.jaceresa.or.jp

宮前 花紀行

撮影場所：稗原

サクラソウ（セイヨウサクラソウ）

エディブルフラワー（食用花）としてサラダの材料に用いられたりしています。

料理の得意な彼女に送ったらおいしい料理になって返ってくるかもしれませんね。春早く咲くサクラソウには「希望」という言葉がぴったりです。

（撮影：渡辺寛美）

宮前区観光協会 特約店

- 宮前平源泉　湯けむりの庄
- 駿河屋製菓
- チーズ＆プリン工房
- 高橋工務店
- DANDELION
- 森永宮前ミルクセンター蔵敷販売所
- 竹水園

編集後記

▼「長尾の里めぐり・つつじ寺入口」の標識を左に見て、「等覚院」の境内に入り、おりていく坂道と、その両側の木々の佇まいに、自然でありながら人の手が加わっていることが明らかな、緑地保全に傾ける情熱の一端を垣間見る。（坪井喬）▼暖かな陽に誘われて、散策に出掛けたら、気持ちもスカット、程良い疲れもあり充実した時間でした。宮前にはたくさんのお宝がありますね。皆さんもお散歩にお出かけ下さい。（青柳和美）▼昔、看板娘のお母さんには取材をを重ねる度元気をいっぱいいただきました。みずさわの皆さん、めいっぱいの笑顔の対応ありがとう。子文のお兄さんは将来が楽しみです。そして皆さんの協力に、心から感謝です。（渡辺寛美）▼この「宮前の風」もついに節目の10号！事務局として、観光記者の皆さんの行動力にはいつも頭が下がります。ことし7月に誕生30周年の大きな節目を迎える宮前区。これからもその魅力を広くお伝えしていけるよう精一杯サポートさせていただきますので、どうぞヨロシクです。（永田泰雄）▼版下原稿を作成しているのですが、素人仕事に終わっています。少しレベルアップしたいと考えています。お教室に通う計画をしています。次号は、少し変わった紙面になっているかも…ちょっぴりご期待ください。（高橋弘幸）

宮前区の歴史

等覺院
宮前区神木本町

等覺院、神の木を探して

1．神の木

宮前区に引っ越してきて20年弱。この１両年、溝口駅前から聖マリアンナ医科大学病院に通ったり、梶ヶ谷駅前から川崎市岡本太郎美術舘を訪ねる際、バスは神木本町を通過する。

最初、バス内のアナウンスがバス停名を告げるとき、「しゅぼく」と聞こえた。バス路線図にバス停「神木本町」があるが、「神木」の読みは通常「かみき」乃至は「しんぼく」。その後、「しぼく」と読むと知る。

次の疑問は「神木」の由来となった樹木の存在。当初、「しばられ松」では？と思った、雷神に撃たれ裂かれた湾曲した幹の様が恰も神の業のようだと。しかし神木本町から離れている。

「神木」は等覺院にあった。「しばられ松」から五つ目のバス停「神木不動」下車３分。等覺院の栞には、当地を神木と呼称する所縁が、《昔、日本武尊、東夷征伐のおり、疲労困憊し、はげしき渇きを、覚えたり、とき、たまたま鶴の舞い降りるのをみたまえり。鶴は水辺を好むものなれば、探ねてその水を飲む。疲労たちまち癒えて、英気まことに漲りたりと。武尊は、深く神助の霊水ならんと感じ、１本の木を植えしという。代々その木を神木と崇めたり。後に智証大師円珍(814-91)その神木を以て當本尊不動明王を刻みたりと伝ふ。通称この地を神木と言ふは、以上の因縁によるものなり。》と記されている。

不動尊の石碑

2．御本尊・不動明王、合祀・薬師如来

等覺院は、山号を神木山、院号を等覺院、寺号を長徳寺と称する。素朴な疑問、寺号として長徳寺とあるのに、何故、「等覺院」と院号を使うのか。公称として、寺号ではなく院号をつかうのは珍しいと、住職の奥様に尋ねると、京都の「三千院」の例を挙げられた。

等覺院の山門

等覺院は、丘陵の山懐に位置する。

等覺院の御本尊は、不動明王（１尺８寸）、秘仏である。関東三十六不動霊場第六番。また薬師如来を合祀する。天台宗に属し、比叡山延暦寺末。薬師如来は、もと日本橋茅場町の智泉院の御本尊だが、太平洋戦争の際、戦災を避けて当院に移された。智泉院は江戸城の東方にあり、徳川家康が江戸入府の際に再興し、「茅場のお薬師さん」として親しまれていた。本堂に入って左に、3.6mの巨大な不動明王像がある。天台宗開宗1200年に慶讃して制作、2007年4月28日に入仏開眼法要が執り行われた。

昨年末そして年明け1月に等覺院を訪ねたときにも銅板屋根工事中であった。昨秋、山門の雨漏りが発見されたために。古色蒼然とした銅板屋根は、改修後の4月に一新するとのこと。山門の左右には、仁王尊が睨みをきかせていた。

3．緑を守る「つつじ寺」

等覺院は、4月中旬頃から2000本の躑躅（つつじ）が咲き誇り、別名「つつじ寺」と呼ばれ、神奈川花の名所百選、また関東花の寺百か所の札所にも選ばれている。また「ぜんそく平癒」「癌・當病平癒」などの祈願寺院として親しまれ「ぜんそく寺」とも呼ばれる。

咲き誇るつつじの上の本堂

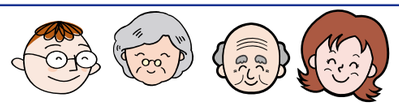
山門を出て、住職の奥様から、元は参道であったと教えられた左の道を進む。バス通りを越して更に進んだ突き当りの左手前に、「不動尊」と陰刻された、元参道の入口を示す参道があった。

等覺院は、同院を取り囲む樹林を含めた緑地保全の協定（協定面積は2.5ヘクタール）を川崎市と結び、「緑を守る不動様」として重要な役割を果たしている。

長尾の里めぐり　つつじ寺入口

（取材：坪井番）

会員募集　いっしょに夢づくり



宮前区には、名所遺跡・文化財・郷土芸能・地域産業など、地域の資源が豊富にあります。宮前区観光協会は、地域における観光事業の振興を図り、郷土・文化の発展に向けて事業展開することにより、地域の皆様が誇りと愛着を持てる、活力あふれる宮前区を創造していきたいと考えております。

宮前区観光協会にご賛同いただき、ご入会いただける方は、下記事務局までご連絡願います。

会費（年額）は個人会員１口　1,000円
団体会員１口　5,000円
法人会員１口　10,000円

なお、会員様におかれましては、宮前区内特約店（７店）にてお買い物の際は、各種サービスを受けることができます。

申し込み先：宮前区役所地域振興課
電話044（856）3135　FAX 044（856）3119

お散歩コース　馬絹コース　約4.9km

立春が過ぎた週末、早春の陽を浴びて鷺沼・宮崎エリアに位置する馬絹コース（宮前区ガイドブック掲載）をお散歩した。東急田園都市線宮崎台駅を起点に宮崎大塚を終点とした約４，９ｋｍ、矢上川と尻手黒川道路を中心に広がる北部と南部の丘陵を歩き、馬絹地域のほぼ半分を歩くコース（同ガイドブック記述）。宮崎台駅改札口を出てすぐ「電車とバスの博物館」や駅前広場、さくら坂がある。桜並木の続くこの周辺は、4月にふる里さくら祭りが開催されてお花見やイベントを楽しむ人々で埋め尽くされる。満開の桜を楽しむそんな感動に出会える季節はもうすぐだ。宮崎第1公園脇を通り抜け間もなく目指す軍標のある石段を見つけた。石段の中ほどに建つ軍標、ガイドブックには宮前区の広い地域が旧陸軍に接収されていた時の名残と解説している。隣に馬頭観世音の碑も建っている。近くに住む奥様は「転入して日も浅く、区内をあまり知らないけれど緑の多い地域で気持ちが良い。慣れたらいろんな場所を歩きたい」、と話していた。手持ちの「宮前の風第9号」をお渡しすると、お礼の言葉を頂いた。矢上川、尻手黒川道路を渡り泉福寺に到着、境内には「泉福寺の文化財」の掲示板がある。絵馬は川崎市重要歴史記念物に指定されているとても貴重な物であることを知った。市の保存樹木に指定されているイチョウ、サルスベリは年輪を感じさせる大木で天に向かい力強く伸びていた。国道246号を横断して緩やかな坂道を上がった所に三又庚申様の解説をした表示板、記念碑とお堂が建っている。民家や生産緑地地区を眺めながら歩くと、鮮やかな赤色に塗られた囲いの中に馬頭観世音の石碑があった。お花やお供え物もあり、先程の庚申様と同様に人々の信仰の厚さを感じた。足取りも軽く、馬絹神社、馬絹古墳に向かい歩き出す。神社の参道正面に大きな鳥居、脇には石碑、長い石段の両側には石灯籠が並んでいる。広い境内に入り本殿、源頼朝の袖掛松と伝えられる「千本松」の枯れた根の一部が納められている所で参拝を済ませて近くにある馬絹古墳へ向かう。横穴式石室が市内最大の規模で県の史跡に指定されている（同ガイドブック記述）。木々に囲まれた円墳は落ち葉で覆われているが、当時の様子を自分なりに想像して楽しい時間だった。隣接している馬絹古墳公園では、古墳についてわかり易く写真つきで解説をしていた。国道246号の下を通り、道路の両側に小売りもしている花づくりの温室があり、室内はたくさんの花が咲いていた。青少年の家にあるお化け灯篭は、想像していたよりも大きかった。由来を記した看板は、「平和を願い青少年の健やかな成長を見守っています。」で結んでいる。終点の宮崎大塚は、民家の庭に墳丘があり石段が組まれた奥には大きな石碑の供養塔が道路から見える。

自然に触れながら地域の歴史を知り、街並みを見て歩いた約4時間弱は楽しみながらリフレッシュした貴重な時間でした。皆さんも身近な場所にお散歩に出掛けませんか。

（取材（24・2・5）：青柳和美）

①桜の開花はいつだろうか？

②ひっそりと歴史を物語る

④人々の今も変わらぬ厚い信仰

⑤何故か遠くで旅しているような気分

③境内で天に向かいる大イチョウ

⑥今日も平和と健やかな成長を見守る

⑦手入れされた花木の奥には供養塔の石碑